

【香港—経済】

### 好景気で財政潤う 「さらに減税」の声強く

好景気に支えられて政府財政が潤っているのを背景に、一層の減税を求める声が高まりつつある。地価補足費や証券・不動産取引にかかる印紙税による税収が膨らんでおり、政府は今財政年度(2007年4月～08年3月)の特別減税による減収分を十分に補える見通し。この状況が続けば、法人税や個人所得税の税率引き下げが香港の競争力につながるとの主張が力を増してきそうだ。

16日付サウスチャイナ・モーニングポストによると、地価補足費の増加を主因とした政府財政収入の増加

で、4～5月の財政黒字は前年同期の3.2倍の50億HKドル(約750億円)となった。株式市場の活況によって年度初めから3カ月間の印紙税収入は、77億8,000万HKドルと2倍近くに増えている。

政府の今年度の特別減税は総額200億HKドル。財政収入が増加する環境が続けば、法人税や個人所得税の減税を求める声が年度後半に向けて一層強まりそうだ。大手会計事務所KPMGの試算によると、税率を1ポイント下げれば、単年度で法人税なら40億HKドル、個人所得税なら7億～8億HKドルの税収減となるという。

【香港—経済】《知財》

### 偽造摘発に一役 専門調査会社が公安を手助け

電化製品からビールまでありとあらゆる製品で闇工場による偽造が後を絶たない中、元警察官などの精鋭が活躍する香港の専門調査会社が、そうした犯罪の摘発に一役買っている。

2001年設立のI—On Asiaは、中国本土での偽ブランド品の製造など知的財産権を侵害する事案の専門調査会社。政府汚職取締署(ICAC)や中国公安当局の元職員らが、8カ月など長期にわたり疑惑の企業などを内偵し、状況証拠などから違法性をほぼ特定できるところまで調査し、警察当局と連携し首謀者の逮捕などに協力している。最近では深圳で電子製品を偽造する集団の首謀者を特定、2,500万人民元(約

4億円)相当の偽造品押収に活躍した。

デレク・エルマー最高経営責任者(CEO)によると、会社設立以来既に偽造品摘発では1,000件以上の実績を上げている。こうした業務以外に、外資系企業の依頼によって中国本土企業の信用調査を手がける一方、本土企業が海外企業を買収するなどの案件でもコンサルタント業務などを担当している。世界15都市に拠点を持つ。16日付香港経済日報が伝えた。

### 香港の児童は“もやしっ子” 抵抗力劣る

民間団体、小童群益会が香港と広州、北京の児童・生徒計3,613人を対象に行った児童心理に関する調査で、香港の子どもの独立心が最も低く、逆に親などに対する反抗心が最も低い「もやしっ子」である実態が分かった。「生きることに對する充実感」も低く、無気力感が漂う深刻な一面もみせた。13日付香港経済日報が伝えた。

調査は今年3～6月にかけて、小学校4年、6年と中学1年の男女を対象に実施した。自立心を示す「問題を自己解決できる」と答えた児童・生徒が香港は46.5%だったのに対し、広州は71.2%、北京は70.1%と大きな開きをみせた。

一方、「生活に十分な意義を感じる」では香港が極端に低く56%。広州は82.5%、北京は79.2%で、経済が安定期に入り、社会的ストレスが増す中で、子どもたちにも無力感が広がりつつある側面も浮き彫りにした。

結果について同会では「香港では両親がメイドに子育てを任せるなど、甘やかし過ぎになりがち」と指摘。「小学校に上がる前後から、距離を置いたり課題を与えるなどの情緒教育が必要」とアドバイスしている。



【香港—運輸】

### 6月の航空貨物取扱高 5.3%増と好調

空港管理局(AA)は15日、チェックラプコク空港の6月の旅客・貨物取扱統計を発表した。旅客は385万人で昨年同月比5.7%の増加。貨物取扱高は30万5,000トンで同5.3%増加した。離発着便数は2万4,180便で、同5.6%伸びた。

今年上半期の旅客は2,270万人で昨年同期比6.4%増、貨物取扱高は170万トンと同1.5%微増にとどまった。

使いこなして効率アップ!  
NNAのデータベースサイト

**POWER ASIA**

トライアル、詳細はNNAまで

プロフェッショナルが  
レクチャーする **中国最新**  
**ビジネスモデル70**

●著：加藤 修(みずほコーポレート銀行香港支店  
中国アセアン・リサーチ アドバイザリー課 次長)

中国事業のさまざまな進出形態を目  
にし、進出から再編までを直接手掛  
けてきた現場からのレポートを掲載。

●価格：HKD280 A5判／320頁／2色印刷  
●NNA会員 特価 HKD220